

再発性多発軟骨炎の診断と治療体系の確立研究班
—再発性多発軟骨炎 32 例の治療実態調査—

研究分担者 岡 寛 東京医科大学八王子医療センター リウマチ性疾患治療センター 教授

研究要旨： 再発性多発軟骨炎 (relapsing polychondritis、以下 RP) は、原因不明で稀な難治性疾患である。本邦における疫学情報は、作年度に本研究班より 239 例の詳細が明らかになった。本年度は、RP 患者支援の会 (会長：永松勝利氏) の協力を得て、RP 患者の治療の実態を RP 患者 32 人について調査した。その結果、ステロイドの単独治療とステロイドとメソトレキサートの併用治療が多かった。

A.研究目的

再発性多発軟骨炎 (relapsing polychondritis、以下 RP) は、原因不明で稀な難治性疾患である。本邦における疫学情報は、本研究班の RP 239 症例の解析で明らかになった。その際に本邦の RP 患者の臨床症状が多彩であるがゆえ、様々な治療薬が投与されていることが判明した。そこで、今回は RP 患者支援の会の協力を得て、アンケート方式による医療の実態調査を行い、RP の治療内容を調査した。

B.研究の方法

RP 患者支援の会の登録している患者に発症年齢、治療内容、月額医療費などのアンケート調査を実施し、52 人の会員のうち、32 人から回答を得た。

C.研究結果

- ① 32 人 (男性 8 人、女性 24 人) の平均年齢は 45.3 歳であった。
- ② 治療薬は、ステロイドと免疫抑制剤の併用が 15 例で最多であり、ステロイド単独が 12 例、NSAIDs 単独が 2 例、免疫抑制剤、漢方薬、気管支拡張剤の単独治療がそれぞれ 1 例であった。
- ③ ステロイド単独の維持量は、10mg/日以下が 10 名であり、15mg/日と 20mg/日が各 1 例であった。
- ④免疫抑制剤は、メソトレキサート(MTX)が 10 例、アザチオプリンが 3 例、シクロファスファミドが 2 例であった。シクリスポリンは過去の使用

例のみで、2 例であった。免疫抑制剤の単独治療例も MTX の治療例であった。

⑤平均の月額医療費は外来患者の 30 名の平均が 16,857 円であり、入院患者の 2 名は気管内ステント留置術が主であり、200,702 円であった。

D.考案

ステロイドと免疫抑制剤の併用の 15 例のうち、10 例が MTX の併用例であり、RP 病変の再発傾向を認めなかった。従って、本研究班の行っているステロイドと MTX の併用による前向き研究の妥当性が示唆された。

E. 結語

本邦の RP 患者は、ステロイドの単独治療とステロイドと MTX の併用治療が多かった。また、月額医療費の負担を強いられている実態が明らかになった。

F.研究発表

1.論文発表

- 1) 岡 寛:関節リウマチと鑑別が必要な疾患とその特徴、線維筋痛症、Medicina、2;48(2): 231-233,2011
- 2) Osada K, Oka H, Isomura T, Nakamura I, Tominaga K, Takahashi S, Kojima A, Nishio ka K. Development of the Japanese version of the Fibromyalgia Impact Questionnaire (JFIQ): The Psychometric assessments of reliability

and validity, Int. J.Rheumatol Dis. 14:74-80, 2011

3) Wakabayashi H, Oka H, Nishioka Y, Hasegawa M, Sudo A, Nishioka K :Do biologics-naïve patients with rheumatoid arthritis respond better to tocilizumab than patients for whom anti-TNF agents have failed? A retrospective study. Clinical and Experimental Rheumatology. 29:314-317, 2011

4) 岡 寛 : 線維筋痛症. ドクターサロン 55(5):50-54, 2011

2.学会発表

1) 岡 寛 : RA 線維筋痛症の診断と治療、第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会、2011 年 7 月 (神戸)

2) 山野嘉久、佐藤知雄、外丸詩野、岡崎貴裕、永渕裕子、尾崎承一、清水潤、遊道和雄、岡寛、鈴木登 : Workshop その他の膠原病 1, W93-5 再発性多発軟骨炎患者における血清中の可溶性 TREM-1 濃度の上昇、第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会、2011 年 7 月 (神戸)

3) 岡 寛、山野嘉久、遊道和雄、清水潤、鈴木登 : P3-535 再発性多発軟骨炎 31 例の患者の実態調査、第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会、2011 年 7 月 (神戸)

4) 松本美富士、岡 寛、西岡久寿樹 : Workshop 線維筋痛症, W10-1 本邦リウマチにおける線維筋痛症診療実態、第 55 回日本リウマチ学会総会

5) 岡 寛、西岡久寿樹、西岡洋右 : Workshop トシリズマブ 4, W49-1 関節リウマチにおけるトシリズマブ治療の臨床的および機能的寛解率、第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会、2011 年 7 月 (神戸)

6) 岡 寛、西岡久寿樹、中村郁朗 : 線維筋痛症に対するピロカルピン塩酸塩 (サラジェン) の使用成績調査、日本線維筋痛症学会 第 3 回学術集会、2011 年 9 月 (横浜)

7) 岡 寛 : 線維筋痛症の薬物療法 : 最近の知見、日本線維筋痛症学会 第 3 回学術集会、2011 年 9 月 (横浜)

8) 岡 寛 : 線維筋痛症のストレスコーピングと症状マネジメント、日本線維筋痛症学会 第 3 回学術集会、2011 年 9 月 (横浜)

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

RP 32例の治療

